



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 ジェイテック  
 コード番号 2479 URL <https://www.j-tec-cor.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 村田 竜三

TEL 03-6228-6463

四半期報告書提出予定日 2021年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,061	8.6	44		46	46.1	6	87.1
2020年3月期第3四半期	2,255	4.5	87	50.0	85	50.7	54	54.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 24百万円 ( 57.4%) 2020年3月期第3四半期 56百万円 ( 45.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	0.88	
2020年3月期第3四半期	6.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	1,684	862	51.2	109.54
2020年3月期	1,819	924	50.8	110.50

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 862百万円 2020年3月期 924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		1.00	1.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,742	9.6	102		21	85.0	1	98.9	0.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,572,400 株	2020年3月期	8,572,400 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	702,800 株	2020年3月期	203,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	7,927,932 株	2020年3月期3Q	8,569,600 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(四半期連結損益計算書関係)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動は世界規模で縮小および休止が余儀なくされ、当社の顧客企業である国内の製造業に対しても深刻な影響を及ぼしました。国内外において感染拡大防止策を講じつつ、段階的な経済活動の再開によって一時的に回復の兆しがみられたものの、感染拡大を警戒した営業自粛や外出自粛の傾向は継続しております。さらに、2020年11月以降に新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向となるなど、依然として先行きは不透明な状況です。

このような環境の下、顧客企業の新型コロナウイルス感染拡大への対応の変化や方針転換などが影響し、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業において、当社グループのテクノロジストに対し、顧客企業から在宅勤務指示や時差出勤の要請が出されるケースが増加しました。さらにコロナ禍により残業の抑制が推進、継続していることから、テクノロジストの出勤日数、稼働人数及び労働工数が減少した結果、売上高は前年同期を下回りました。

費用面については、採用活動の強化のため、人件費及び採用費が増加し、さらに来期以降のテクノロジスト増員を見据えた増床や研修環境の強化を含む設備投資を行った結果、販売費及び一般管理費は前年同期より増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,061,390千円(前年同期比8.6%減)、営業損失44,766千円(前年同期は87,417千円の営業利益)、経常利益46,357千円(前年同期比46.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,987千円(前年同期比87.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 技術職知財リース事業

技術者ニーズは引き続き高く、継続して契約単価の引き上げを促進したものの、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請が出されたことや感染拡大への警戒が続いていることによる当社グループのテクノロジストに対する休業要請、在宅勤務、残業抑制の推進等により、稼働日数、稼働時間が減少し、事業全体の売上高と利益が減少した結果、売上高は2,016,078千円(前年同期比6.7%減)、セグメント利益は228,010千円(前年同期比29.1%減)となりました。

## ② 一般派遣及びエンジニア派遣事業

主に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、住宅展示場等における着ぐるみスタッフやプラカード案内等の取引が休止または大幅に減少した結果、売上高は45,311千円(前年同期比51.4%減)、セグメント損失は16,503千円(前年同期は6,070千円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,684,578千円となり、前連結会計年度末より135,050千円の減少となりました。これは主に売掛金の減少91,820千円、現金及び預金の減少75,967千円によるものであります。

負債合計は822,511千円となり、前連結会計年度末より72,314千円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少73,322千円、借入金の返済による減少71,289千円によるものであります。

純資産合計は862,066千円となり、前連結会計年度末より62,735千円の減少となりました。これは主に自己株式の取得による減少78,433千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は51.2%と前連結会計年度末の50.8%に比べ0.4ポイント上昇いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2021年1月29日の「通期業績予想(連結)に関するお知らせ」で公表いたしました。なお、当該予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は第4四半期連結会計期間において新型コロナウイルス感染症が当社の業績予想に与える様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,203,365	1,127,398
電子記録債権	—	4,554
売掛金	418,701	326,881
仕掛品	1,687	5,067
その他	41,710	59,141
貸倒引当金	△730	—
流動資産合計	1,664,735	1,523,042
固定資産		
有形固定資産	14,772	23,533
無形固定資産	3,337	2,525
投資その他の資産		
敷金及び保証金	50,341	59,436
繰延税金資産	60,382	29,144
その他	26,059	46,895
投資その他の資産合計	136,783	135,476
固定資産合計	154,893	161,535
資産合計	1,819,628	1,684,578
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	146,208	117,505
未払金	62,970	69,355
未払費用	58,555	77,361
未払法人税等	6,518	18,969
未払消費税等	53,071	38,155
賞与引当金	152,485	79,162
その他	11,824	47,254
流動負債合計	491,635	447,764
固定負債		
長期借入金	216,046	173,460
退職給付に係る負債	187,145	201,287
固定負債合計	403,191	374,747
負債合計	894,826	822,511
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	261,834	261,834
資本剰余金	246,328	246,328
利益剰余金	450,056	448,674
自己株式	△28,645	△107,078
株主資本合計	929,574	849,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,458	29,061
退職給付に係る調整累計額	△20,229	△16,753
その他の包括利益累計額合計	△4,771	12,307
純資産合計	924,802	862,066
負債純資産合計	1,819,628	1,684,578

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,255,147	2,061,390
売上原価	1,666,354	1,590,788
売上総利益	588,793	470,601
販売費及び一般管理費	501,375	515,368
営業利益又は営業損失(△)	87,417	△44,766
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	386	406
受取補償金	-	4,433
助成金収入	-	87,767
その他	86	473
営業外収益合計	473	93,081
営業外費用		
支払利息	911	1,209
和解金	1,000	-
支払手数料	-	747
営業外費用合計	1,911	1,956
経常利益	85,980	46,357
特別損失		
固定資産除却損	2,439	-
関係会社株式評価損	※ 2,669	-
特別損失合計	5,108	-
税金等調整前四半期純利益	80,871	46,357
法人税、住民税及び事業税	1,892	14,135
法人税等調整額	24,626	25,234
法人税等合計	26,519	39,370
四半期純利益	54,352	6,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,352	6,987

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	54,352	6,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,425	13,603
退職給付に係る調整額	△270	3,475
その他の包括利益合計	2,154	17,079
四半期包括利益	56,507	24,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,507	24,066
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※ 関係会社株式評価損

関係会社株式評価損は、非連結子会社であるIDEAL POSITIVE SDN. BHD. の株式に係る評価損であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月3日及び2020年5月11日の取締役会決議に基づき、自己株式合計700,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が78,433千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が107,078千円となっております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」という。)の拡大により、全国的に外出自粛傾向が続いており、当社グループのテクノロジストの稼働率や稼働時間の低下などにより、売上高の減少等、当第3四半期連結累計期間以降の当社グループ業績への影響が見込まれますが、本感染症は経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当該事象が当社グループに及ぼす影響及び本感染症の収束時期を合理的に予測することは困難であります。

よって、当第3四半期連結累計期間における繰延税金資産の回収可能性の検討については、当第3四半期連結累計期間末時点において入手可能な情報から判断した結果、2021年6月末まで本感染症の影響が続くという仮定に変更して行いました。

この結果、繰延税金資産の金額が7,478千円減少し、法人税等調整額は同額増加しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,161,854	93,293	2,255,147	—	2,255,147
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	4,575	4,575	△4,575	—
計	2,161,854	97,868	2,259,723	△4,575	2,255,147
セグメント利益	321,663	6,070	327,734	△240,316	87,417

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△240,316千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	技術職知財 リース事業	一般派遣及び エンジニア 派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,016,078	45,311	2,061,390	—	2,061,390
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	6,030	6,030	△6,030	—
計	2,016,078	51,341	2,067,420	△6,030	2,061,390
セグメント利益又は損失(△)	228,010	△16,503	211,506	△256,273	△44,766

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額(△256,273千円)の主なものは、親会社本社の管理部門に係る費用であります。